| 学校番号 | ２１８ |
|---|---|

# 令和８年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 現代の国語 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「精選現代の国語　改訂版」　（三省堂） | | | | | | |
| 副教材等 | ・トータルサポート　新国語便覧　改訂版　（大修館書店）<br>・五訂版　常用漢字クリア<br>五訂版　常用漢字クリア　別冊　徹底トレーニングノート（尚文出版）<br>・ニューフェイズ　現代文１（第一学習社） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・語彙の習得は文章を読む基本です。自主的・計画的に漢字ノートに取り組みましょう。
・身に付けた語彙を活用し、さまざまな文章を読んだり、書いたりする力を身に付けましょう。
・自身の考えや思いを表現し、ほかの人に伝えられるよう、より多くの文章にふれましょう。
・授業のノートや漢字ノートも評価対象になります。工夫したノート作りを心がけましょう。

## 2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたる読書への親しみを向上させ、我が国の言語の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯に渡って読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 読書の原体験を振り返り、読書の効用について理解する<br>［教材］「ぐうぜん、うたがう、読書のススメ」 | a：常用漢字を文や文章の中で活用する語彙の量を増やし語彙を豊かにする<br>b[話／聞]：、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している<br>話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している<br>c：進んで読書の意義と効用について理解を深め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討し、学習の見通しをもって自分の考えを発表しようとしている | 定期考査<br>指名音読<br>講義内小テスト | 発表・報告<br>リフレクションシート | 授業態度<br>学習課題の提出 |
| | 比較することで文化の特徴を明らかにする論理展開の仕方を理解する<br>［教材］「水の東西」 | a：常用漢字を文や文章の中で活用する語彙の量を増やし語彙を豊かにする<br>b[書]：読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している<br>c：進んで文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解し、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開を工夫して、学習の見通しをもって紹介文などを書こうとしている | 定期考査<br>指名音読<br>講義内小テスト | 説明文の提出<br>調査とまとめ<br>リフレクションシート | 授業態度<br>学習課題の提出 |
| | ものとことばの関係について考え、言葉のはたらきを理解する<br>［教材］「ものとことば」 | a：常用漢字を文や文章の中で活用する語彙の量を増やし語彙を豊かにする<br>b[読]：具体と抽象の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する<br>内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する<br>c：言葉が認識や思考を支えることについて、説明の仕方を工夫して理解したことを報告しようとしている | 定期考査<br>指名音読<br>講義内小テスト | 説明文の提出<br>調査とまとめ<br>リフレクションシート | 授業態度<br>学習課題の提出 |
| | 用例を検討して、語句の意味や用法について理解する<br>［教材］「語彙力を鍛える」 | a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している<br>実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている<br>b[書]：目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている<br>c：進んで語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、学習の見通しをもって言葉の意味や用法を説明する文章をまとめようとしている | 定期考査<br>指名音読<br>講義内小テスト | 説明文の提出<br>調査とまとめ<br>リフレクションシート | 授業態度<br>学習課題の提出 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 課題を共有し、進め方を工夫して話し合うことで、考えを広げたり深めたりする<br>［教材］「ワールド・カフェを開催しよう」 | a：常用漢字を文や文章の中で活用する語彙の量を増やし語彙を豊かにする<br>b[話／聞]：論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている<br>論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している<br>c：・進んで正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いを使い、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的に応じて、表現や進行など話し合いの仕方を工夫し、学習の見通しをもってワールド・カフェを行おうとしている | 定期考査<br>指名音読<br>講義内小テスト | 発表・報告<br>調査とまとめ<br>振り返りシート | 授業態度<br>学習課題の提出 |
| | 体験に基づく「多様性」についての筆者の主張を理解する<br>［教材］「「多様性」という言葉への違和感」 | a：常用漢字を文や文章の中で活用する語彙の量を増やし語彙を豊かにする<br>b:[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している<br>c：進んで個別の情報と一般化された情報との関係について理解し、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握し、学習課題に沿って引用や要約などをしながら論述しようとしている | 定期考査<br>指名音読<br>講義内小テスト | 説明文の提出<br>調査とまとめ<br>リフレクションシート | 授業態度<br>学習課題の提出 |
| | 人間と機械の認識の違いを理解し、「人間にできて機械にできないこと」について、根拠を示して自分の考えをまとめる<br>［教材］「人間にできて機械にできないこと」 | a：常用漢字を文や文章の中で活用する語彙の量を増やし語彙を豊かにする<br>b[書]：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している<br>c：進んで情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考え、学習の見通しをもって調べたことや考えたことをまとめようとしている | 定期考査<br>指名音読<br>講義内小テスト | 説明文の提出<br>調査とまとめ<br>リフレクションシート | 授業態度<br>学習課題の提出 |
| | モノを介したコミュニケーションのあり方から、人間や社会について考えを深める<br>［教材］「贈り物と商品の違い」 | a：常用漢字を文や文章の中で活用する語彙の量を増やし語彙を豊かにする<br>b[話/聞]：自分の考えや事柄が的確に伝わるように根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。<br>c：文章から主張と根拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめようとしている。： | 定期考査<br>指名音読<br>講義内小テスト | 発表・報告<br>調査とまとめ<br>振り返りシート | 授業態度<br>学習課題の提出 |
| | 体験に基づく筆者の主張を読み取り、「命の尊さ」について考えをまとめる<br>［教材］「命は誰のものなのか」 | a：常用漢字を文や文章の中で活用する語彙の量を増やし語彙を豊かにする<br>b[書]：目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている<br>目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている | 定期考査<br>指名音読<br>講義内小テスト | 説明文の提出<br>調査とまとめ<br>リフレクションシート | 授業態度<br>学習課題の提出 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | c:・進んで推論の仕方を理解し、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりし、学習の見通しをもって自分の意見や考えを論述しようとしている | | | |
| | 「相対的よそ者」という見方を理解し、共生社会について考えを深める<br>［教材］「共生社会で求められる「相対的よそ者」の視点」 | a:常用漢字を文や文章の中で活用する語彙の量を増やし語彙を豊かにする<br>b[読]:目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている<br>c:進んで主張と論拠など情報と情報との関係について理解し、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価し、学習課題に沿って理解したことや解釈したことを発表している | 定期考査<br>指名音読<br>講義内小テスト | 説明文の提出<br>調査とまとめ<br>リフレクションシート | 授業態度<br>学習課題の提出 |

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間